かりぷ新聞

発行
社会福祉法人
協立いつくしみの会
札幌市厚別区厚別中央５条６丁目５-20
TEL(011)896-1165　FAX894-4404
E-mail:itukusimi@karipu.jp
2018年１月１日発行
発行責任者　河原　政勝

新年あけましておめでとうございます

二〇一八年　元旦
社会福祉法人協立いつくしみの会
理事長　石山　建治

謹んで新春をお祝い申し上げます。

皆様には、日頃からの当法人と事業に対するご理解とご協力に心より感謝申し上げます。年頭に当たりまして、いま安倍首相のすすめる改憲を許さず、戦争法と共謀法の廃止と社会保障の充実を求める総がかりの運動と、市民と野党共闘のさらなる前進のために、皆様とともに力を合わせて暴走政治にストップをかける年にしていきたいと思っています。

地域の中では、経済的な困難や生活上の困難が世帯全体の問題として立ち現れる深刻な事例が増えています。協立いつくしみの会の事業所と職員は、その様な中で「無差別・平等」の医療・介護・福祉の実践と運動に奮闘しており、「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」を皆様とともに、より一層すすめていく決意です。

本年も、皆様のご協力とご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

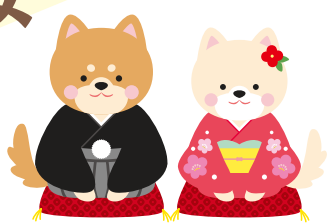
年男・年女紹介

田渕　孝行

利用者様やご家族、地域の方の拠り所となれるよう頑張ります。

中山　暢介

利用者様の第二の人生の手助けができるよう頑張ります。



川口　真奈

今年は、仕事をひとつずつこなしながら人間的にも成長していきます。

阿部季美子

入居者さん、ご家族の皆さん今年もよろしくお願いします。

その他　戌年のみなさん

大塚　小琴	菅原　洋子	山下　祐子
川上　美幸	鈴木千鶴子	和田　伸子
小玉　　薫	中川　由香	
菅原　大樹	春木　京子	

本年もどうぞよろしくお願いいたします

社会福祉法人　協立いつくしみの会
理事長　石山　建治
常務理事　河原　政勝
事務局長　下斗米　博

特別養護老人ホームかりぷ・あつべつ
施設長　田名部みどり

デイサービスセンターかりぷ
所長　新谷　洋介

訪問看護ステーションかりぷ
所長　見上眞由美

居宅介護支援事業所かりぷ
所長　大橋　孝史

ショートステイメイプルハウス
所長　西澤千恵美

デイサービスもみじの家
所長　仁木　要介

ヘルパーステーションかえで
所長　北田ひとみ

居宅介護支援事業所メイプルかりぷ
所長　石戸谷真史

デイサービスののか
所長　大澤真奈巳

小規模多機能ホームかりぷ
所長　松田　梨香

高齢者生活支援ハウスえみな
施設長　下斗米　博

札幌市厚別区介護予防センター厚別中央・青葉
センター長　工藤　隆太

サービス付き高齢者向け住宅ぽろか
管理者　中林　絢佳

協立いつくしみの会ホームページ　かりぷ・あつべつ　検索

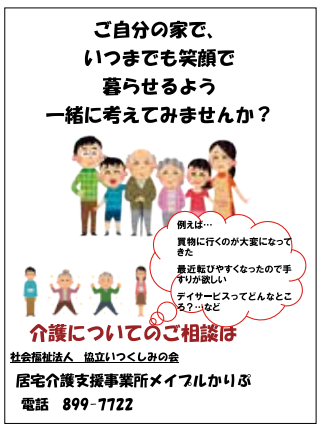
在宅と施設まで 総合的サービスを提供

居宅介護支援事業所 メイプルかりぷ

地域の相談役として

私たちケアマネジャーは、主に地域の皆様の介護保険に関する生活相談に応える事業所です。相談に来られる方は、近隣のもみじ台地域にお住まいの方が多く、入院退院に伴う事、お一人暮らし、ご夫婦世帯、お子さんから両親の事など介護・生活に関する様々な相談を受けて、より良い解決策や対応方法がないかを共に考えています。

また、もみじ台の健康まつりでの介護相談やケアセンターもみじ台カフェでの介護相談、地域からの依頼があれば介護保険利用への出張説明、介護１１０番への参加など、地域の相談窓口になれるよう努めています。「居宅介護支援事業所かりぷ」と併せてまずはご相談ください。



ヘルパーステーション かえで

地域に根差した事業所を目指して

掃除・洗濯・買い物・調理などの「生活援助」や、外出同行・入浴介助・デイサービスなど外出の為の着替えや準備などの「身体介護」があり、介護認定を受けられた方々のお困り事にケアマネージャーと相談して必要な支援を行っています。

また、障害で生活に困難がある方の相談も受け付けており、受給者証の内容をふまえて必要な支援を行っています。

本年も地域に根差す事業所を目指し取り組んでいきますので宜しくお願いします。

デイサービス もみじの家

ご本人ができることを大切に

定員は12人と少人数制のデイサービスです。施設は窓が大きく、日当たりが良く四季の変化を感じる事ができる造りです。もみじの家は〝認知症対応型〟通所介護です。認知症があると物忘れなどが出て、何度も同じ事を繰り返したり、今までできていた事ができなくなったりします。それに伴うように入浴を嫌がったり、少し怒りっぽくなったりする事もあります。一言では表せない程のつらい思いを持って毎日生活しています。そんな時に必要なのは、楽しみのある生活を過ごすことはもちろんのこと、大切なのはその方の持つ能力を発揮できるような支援です。私たちはご本人が出来る事を大切にしています。住み慣れた自宅で生活を続けられるようにこれからも一人ひとりを理解しチームでご本人と家族の支援を続けていきます。

ショートステイ メイプルハウス

生き生きとした生活を支援します

要支援から要介護５の介護認定を受けられている方やご家族の方の支援をしております。

一時的・定期的に、ご家族様の介護疲れの軽減や入院等の急な用事、退院後在宅復帰に向けての利用など様々な事情に伴い利用する事ができます。

家庭的な雰囲気を大切に、ご自宅やご家族から離れても安心して、「メイプルハウスを利用して良かった！」と満足頂ける様、一人一人の生活環境を整え、個別に、リハビリ・各種手工芸・軽家事作業・レクリエーション・趣味活動などに取り組み、一人一人の活性を促しております。

地域に根差す事業所として、職員一同、「医療・介護制度改悪反対」の声を上げながら、ケアの向上を目指しています。

デイサービス ののか

少人数で ゆったりとした雰囲気

ののかの一日は、「今日は何の日？」から始まります。厚別区で開発された転倒予防体操「楽笑体操」を全員で行っています。生活の中に小さな役割を発揮していただけるよう、食事前のテーブル拭きや下膳、洗濯物干しやタオルたたみなど、できる事は行っていただく事にも心がけています。また、隣接する小学校や児童会館、幼稚園のこども達との交流も大切にしています。ボランティアさんとの壁画カレンダー作りやレクリエーション等も楽しい時間です。ご家族や地域住民の代表者にお集まりいただき運営推進会議の開催を年に数回行っています。

サービス付高齢者向け住宅ぽろか

どんなところなの？

サービス付高齢者向け住宅ってなに？と思う方もいると思います。ぽろかでは、３食の食事の提供と食堂で食事を食べてもらい、そこでの安否確認、入居者様の困ったことや解決してほしいことの相談を受けていることがサービス付きの内容です。

日中は２名、夜間は１名の職員がおりますので、困ったことがあれば事務所へお越しください。

全室個室で、居室には手すり・トイレ・ミニキッチン・クローゼット・緊急コールがついています。

毎月１回、カフェや移動販売、理美容、朗読・紙芝居を食堂で行っています。近くの生協まで車で送迎し買い物へも行っていて、入居者様の楽しみとなっています。

入居者の皆様が安全に楽しく生活してもらえるようにと思っています。

小規模多機能ホーム かりぷ

小規模多機能って何??

住み慣れた自宅や地域で継続して生活できるような雰囲気のなか、体操やレクレーション、脳トレ、入浴などを行っています。「通い」で顔なじみの職員が「泊まり」や「訪問」に対応するため、認知症など環境の変化に敏感な方の不安をやわらげることができます。また、朝はゆっくりしたいなど送複数のサービスを利用すると各事業所への連絡や調整が大変ですが、ケア

介護予防から安心・安全の絆

誰もが安心して住み続けられるまちづくりを

特別養護老人ホーム かりぷ・あつべつ

他職種・共同・連携を要に安心・安全のケアを

特養かりぷ・あつべつでは、理学療法士が配置され介護士、看護師と共に多職種共同で、入居者さんが負担なく楽に寝られる姿勢や車椅子に座った時の姿勢、安全に食事を食べることができる様に取り組んでいます。

その他、地域の病院、老健、特養の連携訪問を行い、地域の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように連携を行っていくこと確認してきました。

入居相談では「生活費用が困っている」「医療依存度が高い」方々の相談が多くなってきています。入居に繋がった方からは「安心して親が生活できるところがあってよかった」等の声が聞かれています。困った人に寄り添っていく姿勢をこれからも大切にしながら、かりぷの役割を果たして行きたいと思います。

介護予防センター 厚別中央・青葉

地域の介護予防活動の推進役

札幌市からの委託を受け、一般介護予防事業を通じ地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう各種の取り組みをしています。

高齢者の総合相談や、すこやか倶楽部をはじめとする介護予防教室の運営、町内会や老人クラブなど地域の諸団体への介護予防活動の支援などで、昨年からは「地域リハビリテーション活動支援事業」のモデル事業として「リハビリ専門職による支援と効果測定」と「運動に特化した内容」の教室を運営し、住民の自主サロンの立ち上げと継続に繋げ介護予防を普及させる事業を行っています。

また、介護相談会（ビックハウス厚別店、生協ひばりが丘店）の定期開催や厚別区の介護予防体操の普及にも取り組んでいます。

居宅介護支援事業所 かりぷ

ケアマネージャーとは？

ケアマネージャーは介護が必要になり、介護保険を利用する際に必要な介護計画書を皆様にかわって作成する仕事をしています。このように説明すると難しく感じると思いますが、自宅で介護を必要としている方を定期的に訪問し、自分でできること、手伝ってほしいこと、困っていることを聞いて、介護保険で利用できるヘルパーやデイサービス、車椅子レンタル等の介護保険サービスにつなげていきます。どこに行ったらケアマネージャーに相談できるの？話しやすいか心配…と思われる方は、毎月開催されるかりぷカフェや15日にはビックハウスでの介護相談コーナーにおりますので、こっそり眺めるもよし、「かりぷ新聞みたよ」と気軽に声掛けください。

訪問看護ステーション かりぷ

ご自宅での安心の療養と生活の支援をすすめます

訪問看護ステーションかりぷは、病気や障害があっても住み慣れた地域・家庭で療養したい、そんな方々のお宅に看護師がお伺いし、お手伝いをしています。年齢とともに病気が増え入院される事もあります。治療を受け退院され自宅に戻ってくる時は、医師、病院看護師、ケアマネージャー、関係機関と連携し安心して生活が送れるよう支援しています。現在訪問している方は要支援１から要介護５まで、年齢は40歳代から１００歳まで幅広く、一人一人の状況・状態に合わせサービス提供しています。身体の状態観察、入浴介助、軽体操、床ずれの処置、医療処置等、病気の事での相談や日常生活での困りごと、悩み事も聴きながら一緒に解決できるよう支援しています。

デイサービスセンター かりぷ

利用者様にとってのデイサービスかりぷ

朝、元気なご挨拶がデイルームに響きます。今日も会えた事に安堵し笑顔で楽しく過ごしていただけます。入浴を楽しみにしている方も多く、お体に合わせた支援と座ったまま入浴が出来る浴槽リフト浴を備え安心して入浴していただけます。食事も楽しみにしており、食後のコーヒータイムで団欒しています。趣味や季節を感じながらの創作活動、年中行事や外出行事もおこない、「誕生会」ではバースデーソングでお祝い、記念に写真立てを贈呈し喜ばれています。集団体操や個別の機能訓練でその方の目的に応じた機能の維持向上の支援もしています。

高齢者生活支援ハウス えみな

笑顔がたえない「えみな」

「買い物に行ってきます」。「いってらっしゃい、雪がふってきたよ、気を付けてね」と、元気な声が飛び交います。

えみなには、自立生活が可能な60歳以上の方が生活しています。えみなサロンなど当法人介護予防センターの事業、ボランティア活動、麻雀サークルと思い思いの生活を楽しんでいます。

施設内のサークル活動や行事は自由参加。書道サークルでは、かりぷ祭への作品展示を目標にして、作品の出来栄えに一喜一憂しながら取り組みました。

見学のお問合せは、８９６―８４８１（大塚、久保田）までお気軽にお電話ください。

訪問看護ステーション かりぷ

ご自宅での安心の療養と生活の支援をすすめます

訪問看護ステーションかりぷは、病気や障害があっても住み慣れた地域・家庭で療養したい、そんな方々のお宅に看護師がお伺いし、お手伝いをしています。年齢とともに病気が増え入院される事もあります。治療を受け退院され自宅に戻ってくる時は、医師、病院看護師、ケアマネージャー、関係機関と連携し安心して生活が送れるよう支援しています。現在訪問している方は要支援１から要介護５まで、年齢は40歳代から１００歳まで幅広く、一人一人の状況・状態に合わせサービス提供しています。身体の状態観察、入浴介助、軽体操、床ずれの処置、医療処置等、病気の事での相談や日常生活での困りごと、悩み事も聴きながら一緒に解決できるよう支援しています。

かりぷ・あつべつ「介護お気軽相談会」

かりぷあつべつでは毎月15日午前10時～12時にビッグハウス厚別店（厚別区厚別中央２条２丁目２―６）にて、「介護お気軽相談会」を厚別区生活と健康を守る会と合同で定期開催しています。相談内容は、介護や介護予防、医療や認知症、地域での生活に関することまでの様々です。毎月開催しています。お気軽にお立ち寄りください。

問い合わせ先：☎011―896―1475（介護予防センター厚別中央・青葉）

相談会の開催

生協ひばりが丘店「ちょこっとよろず相談会」

生協、厚別南・中央地区社会福祉協議会、厚別南・中央地区民生委員児童委員連絡協議会、厚別第２包括支援センター、区役所、介護予防センター大谷地、介護予防センター厚別中央・青葉、の関係機関が協力し、地下鉄ひばりが丘駅出入口付近の生協ひばりが丘店にて「ひばりが丘ちょこっとよろず相談会」を毎月第３木曜日午前10～12時に店舗内で開催しています。スーパーマーケットに相談窓口を設置し、身近な地域で相談できる機会を提供していますので、是非お立ち寄りください。

問い合わせ先：☎011―896―1475（介護予防センター厚別中央・青葉）

認知症カフェ「かりぷカフェ」

協立いつくしみの会では、厚別中央・もみじ台・上野幌の３つの拠点でそれぞれのカフェが定期的に開催されています。開催日時は下記のとおりです。

協立いつくしみの会での「札幌市認証カフェ」

▶**厚別中央「かりぷカフェ」**
偶数月の第２水曜日、奇数月の第２木曜日に開催。
午後13:30～15:30まで。
●問い合わせ先:☎011-896-1475
（介護予防センター厚別中央・青葉）

▶**もみじ台「もみじカフェ」**
概ね２～３ヶ月に一度、不定期の日曜日に開催。
●問い合わせ先:☎011-899-7733
（デイサービスもみじの家）

▶**上野幌「ぽろかカフェ」**
毎月第１水曜日13:30～開催。
●問い合わせ先:☎011-890-8787
（サービス付高齢者向け住宅ぽろか）

ご自由に参加できます。お気軽にお立ち寄りください。
（不明な点は各問い合わせ先までご連絡ください）

認知症カフェとは

認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家などが気軽に集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を目ざした活動や交流などのできる場所。

高齢者施設や病院などで運営され数百円の利用料や茶菓代を支払うだけで利用できるカフェのことで、厚生労働省がオレンジプランによって進めている施策の一つです。

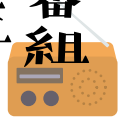
協立いつくしみの会

ホームページをリニューアルしました！

昨年９月末に当法人のホームページをリニューアルしました。急速なスマートフォンやタブレットの普及に伴い、インターネットの利用方法が変化していくなか、小さな画面でも閲覧しやすいよう法人のホームページも対応しました。レイアウトや写真もこれまでとは一新し、より見やすくなっています。

広報誌「かりぷ新聞」や前身である「朱の輪」のバックナンバーも閲覧できますので、「かりぷ・あつべつ」で検索してご覧ください。

ラジオ番組やっています



協立いつくしみの会では、ラジオ番組を放送しています。

「ＲＡＤＩＯ　Ｔ×Ｔ　77・６MHzドラマシティ厚別ひと物語　街・夢・想い」という番組で、毎月第４木曜日20時から21時で放送しています。３月まで放送予定ですので、放送区域外の方やラジオをお持ちでない方は、インターネットまたはアプリで「ｒａｄｉｋｏ」と検索すると聴くことができます。是非活用して聴いてみませんか？

寄附者一覧

2017年8月1日～2017年11月30日

寄附金

光部　啓一
砂金　秀充
高橋　君子
中瀬サチ子

物　品

小久保公司	ポータブルトイレ
金子　昌子	ミキ自走型車いす（MPN-43JD）
山崎　　條	入浴用イス

（敬称略）

いつでも、どこでも、誰もが、安心して暮らし続けられるまちづくりを一緒にすすめましょう。

社会福祉法人 協立いつくしみの会
理事長 石山　建治

●**特別養護老人ホーム　かりぷ・あつべつ**
〒004-0055　厚別区厚別中央5条6丁目5-20
（☎011-896-1165）
（併設事業所）
指定居宅介護支援事業所かりぷ
（☎011-894-0003）
短期入所生活介護かりぷ・あつべつ
デイサービスセンターかりぷ
訪問看護ステーションかりぷ
（☎011-896-8480）
高齢者支援ハウス　えみな
（☎011-896-8481）
札幌市厚別区介護予防センター厚別中央・青葉
（☎011-896-1475）

●**ケアセンター　かりぷ・もみじ台**
〒004-0013　厚別区もみじ台西3丁目1-8
指定居宅介護支援事業所メイプルかりぷ（☎011-899-7722）
ショートステイメイプルハウス
デイサービスもみじの家（認知症対応型）
ヘルパーステーションかえで（☎011-899-2525）
〒004-0013　厚別区もみじ台西6丁目1-4もみじ台内科2F

●**ケアセンター　かりぷ・上野幌**
〒004-0031　厚別区上野幌1条2丁目2-30
サービス付高齢者向け住宅ぽろか（☎011-890-8787）
小規模多機能ホームかりぷ（☎011-890-8755）
デイサービスののか（☎011-890-8733）

E-mail：itukusimi@karipu.jp　かりぷ・あつべつ　検索